

北社会ニュース 第29号

2007年2月21日

発行者：鈴木壯夫

仙台二高・仙台一高

野球定期戦優勝旗



(1) 第248回北社会 校長 柏葉浩明氏 「仙台二高・107年目の文武一道」

母校・仙台二高の現職の校長先生に講演をお引き受けいただいたのは20数年の北社会の歴史でも初めてのことと思います。ご承知のように、今月7日、宮城県公立高校の推薦入試合格者発表が行なわれ、2007年度から男女共学化する母校には、1900年の開校以来107年を経て初の27名の女子合格者が誕生しました。翌8日の河北新報によれば出願者は180人（男子126人、女子54人）で合格倍率は県内最高の2.7倍の難関となつたが、女は2人に1人が合格したのに、男は3.2人にやっと1人が合格という“女高男低”的結果と私には読み取れました。さらに、同紙によれば午後4時の発表の際、私達の年代が創部した吹奏楽部の後輩達がファンファーレを鳴らす中、合格者の掲示が始まったとのこと。51年前、私の時の合格者発表は東体育馆の一階の壁に縦書きで受験番号と氏名が張り出され、3月のお彼岸の頃だったので、寒々とした空気の中で自分の名前を見上げたことが思い出されます。河北新報の記事では男子合格者は「男女一緒に二高を盛り上げていこう」と喜びを分かち合ったり、在校生が合格者を胴上げしたり、さらには部活動勧誘も行い、熱烈に歓迎したと報じております。同窓会その他、地元仙台からここ数年聞こえてきたのは「在校生も共学化反対が大勢」ではなかつたのか、共学化賛成派の私でもこの河北の記事の共学化への“持ち上げ（？）”には、少々クビをひねりたくなりましたし、校長先生から率直なご感想もお聞きしたいと思います。

この記事で校長先生は「女子一期生に挑戦した生徒は、強い意思を持って受験したと思う。敬意を表したい」と話されておられます。15才の春、ともにともにいそしみ、21世紀に貢献できる若者になって欲しいと私はエールをおくり、応援します。

(余談ですが、上杉山中・卒業50周年三年八組の記念誌を作成中です。クラスの卒業時の在席人数は67人=男37・女30で、現在住所判明者は40人=男21・女19=、二高に15人、一高に2人、一女に7人が進学したクラスでした。今回の寄稿者数は21人、その内女子は6人でしたがほぼ全員一女高進学者でした。意味するものは?)

(2) 柏葉校長先生と私 “優勝旗・8月17日・実存主義”

校長先生と初めてお会いしたのは2005年8月31日でした。上中のクラス会参加で秋保温泉に向かう途中、新調された“優勝旗”を自分の眼で見たくて母校を訪れました。高11回・東京ピンピン会で新調費用として五万円寄付していたからです。突然の訪問にもかかわらず、柏葉校長と渡辺教頭両先生と校長室にて優勝旗を見せていただき、温かくご対応いただきました。その後、お便りを交換しているうちに、昭和22年8月17日のお生れだと知りました。校長先生が20才になられた昭和42年8月17日、この日は私のオヤジがガンに負けてあの世に翔びたった日でもありました。その日から、今年は40年になります。8月校長先生も還暦をお迎えになります。お酒でも呑んで、一緒に思い出など語り合えたらと思っております。そして“実存主義”、お互い高校時代に関心深く、J・P サルトルを愛読していたことも知りました。読解力に相当の格差があること、会話中によくよく分かり、私は恥ずかしくなりました。昨年11月2日、モンゴル国の女性校長を二高にご案内した時も温かく丁寧にご対応・ご案内いただきました。12月発行の同窓会報の通りです。ホロルスレン学校長はウランバートルに戻った後、200名の先生と5000人の生徒に「日本で高校は二校見学した。仙台二高と麻布高校という公立と私立の日本を代表する高校を見学できた。ホランの会の会員の皆さんに感謝したい。」と話されておるそうです。ウランバートルでも話題になっておるそうです。

(3) 蔵王慰靈登山 渡辺宏様のご紹介

2004年6月、第222回北杜会にお越しいただき、大正7年9人の遭難死に関し、「蔵王遭難と父 及び 男の生き方」と題し、千葉英之先輩の司会で鼎談を努めていただきました。さらに、2005年・夏 渡辺家の家宝の「庄内藩古文書」が二高図書館に寄贈いただきましたこと、2005年12月の同窓会報に同先輩が寄稿されておりますので皆さんご記憶のことと思います。本日は柏葉校長先生のご上京にあわせ、感謝のご挨拶をされたいとオブザーバー参加されます。今年、90才になられます。

(4) 来月以降の北杜会予定

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 3月22日（木）講師・和田信彦氏（高17回） | 「土壤汚染リスクと不動産」 |
| 4月18日（水）講師・阿部 孝氏（高27回） | 「インターネット、その進化する世界 ウエブ 2.0（仮題）」 |